



恵比寿映像祭地域発信プロジェクト

## 「YEBIZO MEETS」 ～ 恵比寿から発信、アートで発信 ～ を始めます。

第 9 回恵比寿映像祭の会期中、COMMON EBISU が、ゆったりサロン、  
ゆったりトーク、ゆったりイベントのスペースになります。



[主催]東京都／東京都写真美術館・アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)／日本経済新聞社 [共催]サッポロ不動産開発株式会社／公益財団法人日仏会館 [後援]TBS/J-WAVE 81.3FM [助成]アジア・カルチュラル・カウンシル [協賛] ANA / オーストラリア大使館／オーストリア大使館・オーストリア文化フォーラム／サッポロビール株式会社／京都写真美術館支援会員 [協力]Kyoto DU / びあ株式会社／ドゥービー・カンパニー株式会社／株式会社トリプルセブン・インタラクティブ／株式会社ロボット

「YEBIZO MEETS」とは、恵比寿映像祭が地域連携プログラムの拡張版として、今年から開始するプロジェクトの総称です。第 9 回恵比寿映像祭は、東京都写真美術館リニューアル・オープン後、ふたたびホームベースの美術館に戻って開催いたします。これを機に、より一層地域と繋がり、緩やかに「東京・恵比寿」から発信していく——。その皮切りとして「YEBIZO MEETS」の名のもと、下記のとおり地域発信プロジェクトを実施します。

### | COMMON EBISU が恵比寿映像祭の会期中、フェスティバル・サロンになります

恵比寿映像祭メイン会場の東京都写真美術館にほど近い COMMON EBISU が、フェスティバルの会場めぐりの計画を立てたり、鑑賞後の休憩にくつろげるリラックス空間に。フェスティバル情報はもちろん地域連携プログラムの情報を発信するスポットとなります。そのほか、トークセッションやイベントも行われます。スタンプラリーのスタンプポイントにもなっていますので、ぜひお立ち寄りください。

会 場 COMMON EBISU (コモンエビス) [恵比寿ガーデンプレイス グラススクエア内]  
期 間 平成 29 年 2 月 10 日 (金) ～ 2 月 26 日 (日) (映像祭月休、19 日 (日) 停電休)  
時 間 11:00～20:00 (※最終日は 18:00 まで)

## | 「YEBIZO MEETS」 I 特別セッション

世界的に活躍する建築家・伊東豊雄氏と大地の芸術祭ほか数々のアートプロジェクトを創出する北川フラム氏に、最近の活動を通じて、いま都市やそれぞれの地域との間に何が起きているのか？ 建築や美術の視点から都市の未来について語って頂きます。東京・恵比寿の地から発信する、さまざまな実践を積まれたお二人ならではの対談にご期待ください。

伊東豊雄（建築家）× 北川フラム（アートディレクター）  
モデレーター：関康子（編集者）

会場 COMMON EBISU（コモンエビス）[恵比寿ガーデンプレイス グラススクエア内]  
日時 平成 29 年 2 月 11 日（土） 17 時 00 分～18 時 00 分  
定員 60 席（別途、エリア内での立見可）  
入場 無料



伊東豊雄 (ITO Toyo)  
建築家／伊東建築塾 NPO これからの建築を考える主宰 [恵比寿]

1941 年生まれ。1965 年東京大学工学部建築学科卒業。主な作品に「せんだいメディアテーク」、「みんなの森 ぎふメディアコスモス」、「台中国家歌劇院（台湾）」など。ヴェネツィア・ビエンナーレ金獅子賞、王立英国建築家協会 (RIBA) ロイヤルゴールドメダル、プリツカー建築賞など受賞。2011 年に私塾「伊東建築塾」を設立。児童対象の建築スクールや、地方の島のまちづくりなど、これからのまちや建築を考える建築教育の場として様々な活動を行っている。



北川フラム (KITAGAWA Fram)  
アートディレクター／アート・フロントギャラリー主宰 [代官山]

1946 年新潟県生まれ。東京芸術大学美術学部卒業。「アントニオ・ガウディ展」、「ファーレ立川アートプロジェクト」等をプロデュース。地域づくりの実践として、2000 年にスタートした「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」、「水都大阪」(2009)「瀬戸内国際芸術祭」(2010, 2013, 2016 年)では総合ディレクターをつとめる。2006 年度芸術選奨文部科学大臣賞。2012 年オーストラリア名誉勲章・オフィサー。2016 年紫綬褒章受章。



関康子 (SEKI Yasuko)  
デザイン編集者

『AXIS』編集長を経て、フリーランスのエディターとして活動。2001 年にトライプラスを共同設立し、子どもの関係の商品企画、編集出版も行う。

## | 「YEBIZO MEETS」 II 地域発信トーク：伊東建築塾

恵比寿の住宅地にさりげなく佇むNPO法人「伊東建築塾・NPO これからの建築を考える」。恵比寿映像祭地域連携プログラムで4回目の参加となります。「地域づくりの可能性」「都市と島をむすぶ」「子どもたちといえとまちを考える」という3本柱の活動のなかで、子どもたちと取り組んだ「渋谷川とまちの建築」作品を紹介しながら、子ども建築塾の活動や恵比寿の街の魅力について語っていただきます。

伊東豊雄（建築家・伊東建築塾 NPO これからの建築を考える主宰 [恵比寿]）

×

アストリッド・クライン（建築家・クライン ダイサム アーキテクト代表 [恵比寿]）

モデレーター：古川きくみ（伊東建築塾 事務局長）

会 場 COMMON EBISU（コモンエビス）[恵比寿ガーデンプレイス グラススクエア内]

日 時 平成 29 年 2 月 11 日（土）15 時 30 分～16 時 30 分

定 員 60 席（別途、エリア内での立見可）

入 場 無料



アストリッド・クライン (Astrid KLEIN)

建築家/クライン ダイサム アーキテクト代表 [恵比寿]

共に RCA を修了したマーク・ダイサムと 1991 年にクライン ダイサム アーキテクトを設立。建築、インテリア、インスタレーションといった複数の分野のデザインを手掛ける KDa の作品やその活動は、国際的評価を得ており、注目を集めるクライアントと様々なプロジェクトを進めている。主な作品に「代官山 T-SITE」、「GOOGLE TOKYO OFFICE」、「GINZA PLACE」など。American Retail Environment Awards や D&AD Awards、World Architecture Festival Awards 他受賞多数。2015 年から伊東建築塾「子ども建築塾」の講師を務める。www.klein-dytham.com



古川きくみ (FURUKAWA Kikumi)

伊東建築塾 事務局長 [恵比寿]

1984 年愛知県生まれ。2009 年京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程修了。2010 年同大学大学院博士（後期）課程在籍中に NPO アートアンドアーキテクトフェスタを設立。2012 年より伊東建築塾にて、建築のレクチャーやワークショップ、展覧会などの企画運営を行う。

## | 「YEBIZO MEETS」 III リンクセッション：オーストリア大使館・オーストリア文化フォーラム

今回の恵比寿映像祭上映プログラム「相互接続への夢——《ドリームズ・リワイヤード》ジャパンプレミア」は、オーストリア大使館・オーストリア文化フォーラムからのサポートにより実現しました。その繋がりから同機関主催による関連企画を併せて実施いたします。この上映作品の監督の一人であるマヌ・ルクシュ氏（映画監督・研究者）と同氏と以前から親交があるという畠山直哉氏（写真家）を迎えて、お二人の近年の活動について語り合うセッションを行います。

○恵比寿映像祭の「リンクネットワーク」は、恵比寿映像祭が、地域間・多都市間や文化施設や組織と連携し、フェスティバルネットワークを構築していくパートナーのことを示しています。

マヌ・ルクシュ [第9回恵比寿映像祭上映プログラム《ドリームズ・リワイヤード》出品作家]  
×  
畠山直哉 (写真家)

会 場 COMMON EBISU (コモンエビス) [恵比寿ガーデンプレイス グラススクエア内]  
日 時 平成 29 年 2 月 22 日 (水) 19 時 00 分~20 時 00 分  
定 員 60 席 (別途、エリア内での立見可)  
入 場 無料



マヌ・ルクシュ (Manu LUKSCH)  
アーティスト・映画監督・研究者 [映像祭出品作家]

監視社会と情報保護についての作品《フェイスレス》(2002-2007) で高い評価を得る。《フェイスレス》は、ティルダ・スウィントンの語りにより、9 か国語に訳され、ポンピドゥー・センターに収蔵された。Elevate 2015、マリアンネ・フォン・ヴィレマー・デジタルアワード、オーストリア国立メディアアート賞を受賞。ゴールドスミス大学の客員研究員としてスマート・シティを研究中。

Photo: Valerie Bachschwoll



畠山直哉 (HATAKEYAMA Naoya)  
写真家

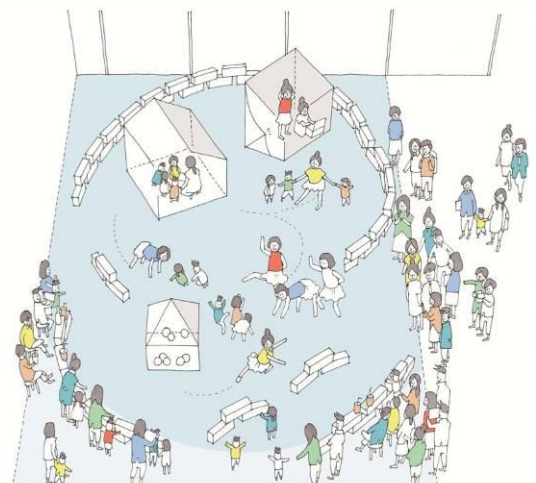
岩手県陸前高田市出身。筑波大学で大辻清司に学び、同大学院修了後は東京に移り活動を続ける。1997年に写真集『ライム・ワークス』、写真展『都市のマケット』により第22回木村伊兵衛賞受賞。2001年には『ヴェネツィア・ビエンナーレ』日本代表の一人に選ばれている。同年、写真集『アンダーグラウンド』により第42回毎日芸術賞を受賞。2012年、個展『Natural Stories』で芸術選奨文部科学大臣賞受賞。2016年末にせんだいメディアテークで開いた個展『まっふたつの風景』では、故郷の風景の変遷を扱い話題を呼んだ。

## | 「YEBIZO MEETS」IV 地域連携発信 特別イベント

### 「ダンス保育園！！」

子どもを育てながら活動を続けるアーティストと、子育て中も芸術鑑賞をあきらめないオーディエンスを応援するプロジェクト「ダンス保育園！！」。子育て世代のダンサーやアーティストが、恵比寿映像祭と連携し、恵比寿ガーデンプレイス〈COMMON EBISU〉を舞台に、ワークショップやパフォーマンスを繰り広げます。珍しいキノコ舞踊団などのダンサーたちやミュージシャンの坂本美雨らが登場。ライブ演奏をバックに、幼児からダンスに親しむプログラムが開かれます。

また、デザイナーやアーティストの指導でオーナメントやモビールを作る工作のプログラムも開かれます。もちろんワークショップの様子はどなたでも会場の外からご覧いただけます。



会場には、「イベント託児マザーズ」の協力により、恵比寿映像祭の観覧のあいだ、子どもたちを預かるキッズルームも設置されます。(要予約・下記参照)

空間構成は建築家・永山祐子。軽いブロックや蚊帳のテントの組合せで、キッズルームとアートスペースが緩やかにつながります。「ダンス保育園!!」は、現代の社会が求める新しい複合型スペースのモデルケースとして、今後も各地で開催が予定されています。

会場 COMMON EBISU (コモンエビス) [恵比寿ガーデンプレイス グラススクエア内]

日時 平成 29 年 2 月 25 日 (土)

□ 13 時～14 時 30 分 ダンスパフォーマンス&ワークショップ

1) ダンスパフォーマンス (20 分程度)

2) ワークショップ (2 才～7 才くらい対象)

□ 13 時～16 時 工作ワークショップ (いつでも参加できます)

永山祐子建築設計、SUNSHINE TO YOU 企画のものづくりの WS

演出 篠崎芽美 (ダンサー・振付家/珍しいキノコ舞踊団)

出演 ダンス保育園!!ダンサーズ、歌と演奏:坂本美雨、国広和毅

参加費:ダンスワークショップ 1,500 円、工作ワークショップ 500 円

\* ワークショップは託児サービスご利用の方以外も参加可能です。

\* パフォーマンスとワークショップは会場の外からどなたでもご観覧いただけます。

<託児サービスおよびダンスパフォーマンス&ワークショップは、事前予約が必ず必要となります>

予約: info@traumaris.jp

ダンス保育園!! 実行委員会 (TRAUMARIS 内)

★お名前、年齢、ご連絡先を明記の上メールにてお申し込みください。

★必ず保護者の方の付添いが必要です。

★ワークショップは一般の方も観覧可です。

★記録写真と映像を撮影いたします。写り込みを希望されない方はお申し出下さい。

★フロアはきれいに掃除されていますが気になる方は着替えやタオルをご用意ください。

定員: 25 名

託児サービス: 「イベント託児マザーズ」にお電話にて直接お申し込みください。

★ 託児サービスとワークショップを同時に受けることはできません。(ワークショップは保護者の付添いが必要です。)

www.mothers-inc.co.jp

TEL. 0120-788-222 (平日 10:00～12:00、13:00～17:00)

主催: ダンス保育園!! 実行委員会

企画: 住吉智恵 (TRAUMARIS アートプロデューサー・第 9 回恵比寿映像祭地域連携プログラム参加)

制作: TRAUMARIS、合同会社キノコノキ

助成: アーツカウンシル東京 (公益財団法人東京都歴史文化財団)

協力: COMMON EBISU、イベント託児マザーズ

※ 恵比寿映像祭は、この事業を「YEBIZO MEETS」として連携発信しています

このリリースについてのお問合せ ※ 報道・媒体関係者様 のお問合せに限らせていただきます。

○プレスリリースに関するお問合せ |

恵比寿映像祭プレス担当: 平 (たいら)、大西 (おおにし)

電話: 090-1149-1111 (平) 090-9621-5235 (大西) / ファクス: 03-3468-8367 /

E-mail: info@tmpress.jp

○広報用写真の提供 |

※本リリース内で使用している写真を広報用画像としてご用意しております。

①ご希望画像の作品名 ②貴媒体名 ③掲載予定時期

を表記のうえ、上記のプレス担当者までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

○この事業に関するお問い合わせ |

恵比寿映像祭担当 (東京都写真美術館): 柳生 (やぎゅう)・印牧 (いんまき)

〒153-0062 東京都目黒区三田 1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内

電話: 03-3280-0076 / ファクス: 03-3280-0033 / e-mail: yebizo\_press@topmuseum.jp